ホテル エーゼット
HOTEL AZ だより 2024年 初夏編
Vol.17 令和6年7月号
ご自由にお持ち帰りください

福岡・篠栗（ささぐり）町の旅路

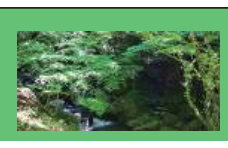
「南蔵院」の「釈迦涅槃像」はブロンズ像としては世界一！「南蔵院」は篠栗四国霊場の総本寺で第一番札所です。

人・時めぐり逢い紀行⑫

新緑がまぶしい季節。今回は福岡市から車で約20分と都会のお隣にあって、深い歴史と大自然の旅が楽しめる糟屋郡篠栗町の三浦正町長をお訪ねしました。

［発行問い合わせ］
株式会社アメイズ 福岡事務所
TEL:092-605-3321 FAX:092-605-3335
〒811-0213 福岡市東区和白丘2-3-2
令和6年7月発行 発行責任者 穴見 賢一（代表取締役社長）

篠栗町は７町で構成される福岡県糟屋（かすや）郡の最東部に位置します。三方を山に囲まれ、町域39㎢のうち約７割は森林と山間地域。その中に篠栗四国八十八カ所の寺院やお堂が点在するほか、森林セラピーができるコースが整備されています。福岡市のベッドタウンとしても人気の立地です。



人時邂逅（ひとときかいこう）

穴見 賢一（あなみ けんいち）

代表取締役社長
株式会社アメイズ

Kenichi Anami

1970年生まれ、大分県佐伯市出身。2016年『ホテルAZ』を全国87店舗展開する『株式会社アメイズ』代表取締役社長に就任。柔道初段。趣味はロードバイク、カメラ、ラジコン（車、飛行機）。

三浦 正（みうら ただし）

福岡県糟屋（かすや）郡
篠栗（ささぐり）町 町長

Tadashi Miura

1954年生まれ。福岡県糟屋郡篠栗町出身。九州大学卒業後、1979年㈱福岡銀行入行。2004年同行を退職、同年、篠栗町長に初当選し、現在５期目。仕事の信条は住民の皆さんに「喜ばれて喜ぶ」。座右の銘は「ど真剣に取り組む」「利他の心で」。趣味は料理、読書（稲盛和夫・夏目漱石）

贅沢なランチ&カフェ時間、お遍路や森林セラピーロードでココロとカラダを満たしませんか！

明太子メーカーのランチや至高のコーヒーが楽しめる開発都市「イルガーサ」

穴見　篠栗町は博多駅から快速電車で約15分、車で約20分ととても交通の便が良く、素晴らしい立地ですね。今、推進されている施策があればお聞かせください。

三浦　お気づきいただいたかもしれませんが、国道沿いに食品系工業団地をつくりました。「明太子やまや」さんの本社・工場や北九州に本社のあるコーヒー豆焙煎販売の極東ファディさんが入居されており、今後も久原本家茅乃舎さんの工場を含めてあと3社、入る予定です。

穴見　活気がありますね。

三浦　無機質な建物群ではなく、人々が活発に行き来するゾーンを目指して10年ほど前から青写真を描き始め、2023年に開発都市「IRUGASAS（イルガーサ）」として開業しました。やまやさんのレストランではランチなどが人気ですし、極東ファディさんは日本一の焙煎所を目指して、焙煎所とカフェをオープンしました。篠栗オリジナルのブレンドコーヒーもあるんですよ！週1回くらい、社長がテイスティングに来られます。企業トップとの出会いにも恵まれました。

穴見　「イルガーサ（IRUGASAS）」とはどういう意味ですか？

三浦　「SASAGURI」を逆から読んで命名したものです。昨年11月には、ここで地域活性をテーマにしたお祭りを開催し、大盛況でした。先日もやまやの社長とお話をしたのですが、このエリアが篠栗のキーステーションになるように企業と町の絆を深めながら、賑わいの気運を高めたいと考えています。

穴見　単なる開発ではなく、人を真ん中にした豊かな都市づくりが進んでいるんですね。道を挟んで向かい側のこんもりとした山に大手の物流センター、流通センターなどもあり、企業進出が活発なイメージです。

三浦　交流人口を増やして、篠栗が福岡都市圏東部の新たな個性あるゾーンになっていければ良いと思っています。

忙しい現代人におススメ！1カ月は効果が持続する森林セラピー

穴見　篠栗町のおススメスポットとしては他にどのようなものがあるのでしょうか？

三浦　篠栗町は12年前に森林セラピー基地の認定を受けていまして、これは町内外の人に篠栗の山の素晴らしさを伝えたいと、私が町長になって最初に取り組んだ施策です。篠栗町で森林セラピーを受けると、都会のギスギスした中に戻っても1カ月は元気が持続してしっかりと仕事ができるそうですよ。

穴見　かなりの効き目ですね！　どんな体験ができるんですか？

三浦　森林セラピストと少人数で山に入り、大きな杉に抱きついたり、地面に寝転がったり、目をつぶってみたりという体験をします。目を閉じた瞬間に木の香りや風を感じたり、鳥の声が聴こえてきたり、足で踏んでいる落ち葉の感触を感じたり。そんな体験の中で五感が開かれ、心が鎮まっていきます。町と九州大学が共同で開発した2㎞の「篠栗九大の森」というセラピーロードもあり、一見の価値ありです！　湿地や水に浸かる場所でも生育できるラクウショウ（沼杉）が生える「水辺の森」に入ると、ちょっとした神秘体験ができます。

穴見　今日、応接室に入った時から、フワッと木のような良い香りが漂っていて落ち着きますね。

三浦　ヒノキの香りのアロマストーンを置いているんです。これは篠栗のものではありませんが良い香りですよね。篠栗町にある若杉山や米ノ山には樹齢何百年、高さ30m、40m級のヒノキやスギの大木がたくさんあって、セラピーロードにはストレス緩和効果のあるフィトンチッドが充満しています。実は僕も森林セラピストの資格を持っているんです。

穴見　そうなんですね。米ノ山展望台からは福岡市のパノラマが一望できて、視覚を楽しませてくれますね。壮大な景色です。

三浦　米ノ山にはパラグライダーの発進基地もありますよ。

180年の歴史とご利益と癒しのお遍路

穴見　それぞれの山に峠道があって、その峠沿いにお蕎麦屋さんやカフェ、天然酵母のパン屋さんなど立ち寄ってみたくなるスポットが点在し、ドライブするのも楽しそうですね。そんな美味しい体験、癒しの体験ができる新しいゾーンがある一方で、篠栗四国八十八カ所のお遍路がある歴史の町でもありますね。

三浦　篠栗町のお遍路は江戸時代に完成して約180年経ちました。総本寺である南蔵院の涅槃像はブロンズ像として世界一で、最近は、外国人の観光客もたくさんいらっしゃっています。南蔵院以外にも、四国から持ってきたお砂を埋めたお堂とお寺が八十八カ所あり、2泊3日くらいで「四国を回ったのと同じようなご利益」をいただけます。僕が子どもの頃くらいまでは佐賀県など近隣県の農家の方が田植えと稲刈りが終わって春と秋の年2回、「篠栗さんにお参りに行く」「お礼に行く」風習があり、その頃になると毎日百人単位のお遍路さんが歩いておられました。今は個人個人で心の癒しを求めてお遍路される形になり、全体としての数は減りましたけれども、毎日、お寺やお堂にはロウソクが立てられ、線香の香りが漂って、お参りされた気配は途絶えることはありません。

穴見　それにしても、なぜ篠栗町に四国八十八カ所ができたのでしょうか？

三浦　天保年間（1831～1845年）、四国八十八カ所を巡拝した慈忍（じにん）という尼さんが篠栗村に立ち寄られ、飢饉にあえぐ村人の拠り所になればと、四国の各霊場の砂を持ってくることを発願されたんです。それを受けた村人たちが、江戸時代末期に四国の八十八カ所を巡り、砂を持って帰って篠栗四国八十八カ所を作ったのが始まりです。お堂は今も堂守さんという一般のお家の方が守っていらっしゃいます。

穴見　南蔵院やお遍路は地域の象徴なんですね。

三浦　僕はこの遍路道が大好きなんです。僕はこの町で生まれ育ったのですが、初めて遍路をしたのは、大学受験中でした。お礼参りも含めて3年連続で行きました。緑映える新緑の景色を楽しみつつ、札所や茶屋でお接待を受けていると、清々しい気持ちになったのは懐かしい思い出です。10代のお遍路体験で、篠栗町の細かいところまでいろいろと知ることができて、自分の町がさらに大好きになりました。

次期ビジョンは、環境産業で町おこし。夢に向かって一歩一歩

三浦　未来という意味では、僕の代でしっかり形にしたいのがバイオマス発電による地域エネルギー事業です。

穴見　それは夢のあるチャレンジですね。

三浦　はい。具体的には、生木や紙おむつなどのバイオマスを燃やしてバイオ炭を製造し、それらを燃料に発電までつなげようというものです。

穴見　篠栗町の未来志向は想像以上ですね。

三浦　関東の方と名刺交換すると、「ああ、シノクリ町さんですね」と必ず言われるんです。「いいえ、ササグリ町です」と言わなくていいように、「ああ、あのササグリ町さんですね」と言われる何かをしっかり作っていきたいですね。僕は町の成長を次代につなげる連結手の一つとして次世代にバトンタッチした後も、町のさらなる発展を楽しみたいと思っています。

1 約180年の歴史を刻む篠栗四国八十八カ所

弘法大師を海難から救った浪切（なみきり）不動明王がご本尊の「天王院（第三十六番札所）」など八十八カ所ごとに由縁や物語があります。美しい四季の景観を楽しみながら歩いてみませんか。「ささぐりお遍路入門編」1日お遍路ツアー（問い合わせ：篠栗町観光協会）も開催されています。また、時間がない時は、南蔵院・涅槃像の体内参拝で「お砂踏み」はいかがでしょう。長く続く体内に八十八枚の石を敷き詰め、その下に四国霊場の「お砂」が収められていて、一つひとつ踏みながら参拝することで、お遍路と同じ御利益を授かることができるとされます。

第70番札所五塔ノ滝観音堂

五塔ノ滝

2 森林セラピーはココロのマッサージ！

セラピーロードは、スギの巨木や針葉樹を見ながら歩く25分のショートコースから涼しげな滝や広大なダムが見どころの180分コースまで6コースあります。各セラピーロードの魅力を、約2㎞、2時間にわたってガイドする「森の案内人」もスタンバイしています（有料）。

※ガイドの予約は10日前まで。
申し込み・問い合わせ：篠栗町産業観光課
TEL092-947-1217

3 イルガーサから始まる美味しくて新しい賑わい

イルガーサは篠栗町の開発地区で、産業ロボットを駆使した新しい食品系工業団地。すでに数社が入居しており、「明太子やまや」ではレストラン、マーケットが利用できるほか工場も営業中は予約なしで自由に見学できます（入場無料）。コーヒー豆焙煎販売の極東ファディのスタイリッシュなカフェも人気。コーヒー豆の栽培から収穫、保存、輸送時の品質管理、焙煎、抽出まで全ての工程にこだわった至高の1杯が味わえます。

昨年11月に開催されたイルガーサ創業祭

4 篠栗グルメ図鑑

三方を山に囲まれた篠栗町は猫峠、米ノ山峠、八木山峠があり、峠沿いに美味しいスポットが点在しています。

篠栗珈琲焙煎所
篠栗珈琲焙煎所では、『篠栗ブレンド』（800円）/『アイスカフェラテ』（900円）/『Top of Top』（限定ロットのスペシャルティコーヒー）（1,500円）などドリンクのほかフードやスイーツも充実しています。挽き売りコーナーではコーヒー豆の販売も行っています。

茶房　わらび野
若杉山の中腹にある茶房わらび野は全面ガラス貼りの窓から眺める絶景が有名。福岡の街、博多湾、壱岐、対馬まで一望できます。ランチ、スイーツ、ディナーとフードも充実しています。

蕎麦　文治郎
古民家で使われていたような梁（はり）を巡らせた天井は高く、店内は広々、テーブルも大きく、すべてがゆったりした贅沢な空間もご馳走の一つです。生ベーコン、ズッキーニなど変わり種が混じる天麩羅盛りを合わせて注文するのもおススメですよ♪

5 米ノ山にはパラグライダー基地も！

米ノ山の頂上は、博多湾や天神、天気が良い時は壱岐まで見わたせる絶好の展望地。標高594mの山頂にはパラグライダーの基地があり、篠栗町を訪問した日も色とりどりのパラグライダーが青空を飛翔していました。

大空を悠々と飛翔するパラグライダー

米ノ山展望台からの絶景

【閑談コラム－終わりにかえて－】

三浦　AZさんは、「なぜここにホテルが？」という場所に数多く出店されていて、実にユニークな戦略を取られていますね。九州内でもあちこちで見かけますが、篠栗町も選んでいただいて本当にありがとうございます。今、篠栗店が建っている土地は僕の子どもの頃の記憶では、最初は製材所、それからボーリング場、パチンコ屋さんといろいろと変遷してきた土地です。そこにAZさんが建って10年以上になります。どっしりと存続していただくことで町も土地も落ち着きました。

穴見　そのように評価していただいてありがとうございます。篠栗店は父の穴見保雄が出店した物件で、オープンは2012年です。存続という点では、ホテルAZの前身が大分発祥の「亀の井ホテル」でございまして、創業としては100周年を超えているんですが、会社を設立してから決算期で100期目を迎える年になります。

三浦　近代的なビジネスホテルですが、そんなに長い歴史をお持ちなんですか！　お父様はその前にジョイフルも創業していらっしゃいますね。僕は銀行員時代、オフィスと同じビルにジョイフルが入っていて、ランチがワンコインで食べられました。これは安い！ということで当時、かなりお世話になりました。

穴見　ありがとうございます。三浦町長はそんな銀行員生活を後にどういった思いや政策をもって町長を目指されたのですか？

三浦　「三割自治」という言葉がありますね。我が町でも国からの借金頼みの財政を危惧する声が高まっておりまして、その声を受けて立候補しました。現役との一騎打ちで無謀な挑戦だったのですが、当選して現在に至ります。僕は歴史が好きで大学は文学部国史学科を目指していたのですが、実際には経済学部に進み、その流れで金融業界に入りました。でも、やっぱり落ち着くのはこの町なので、町に関わる仕事をしていきたいと思っています。歴史が深く、大好きな弘法大師や仏教美術の世界も身近にあります。縁あって町長という職に就きましたが、人は何か不思議な巡り合わせで生きていくんだなと思いますね。20年間町長職にあって、いまだに日々楽しさが増して仕方がないのでもう少しだけ町長を続けて、その後もこの町でいろいろな仕事をしていきたいと思います。

穴見　篠栗町の未来が楽しみですね。ホテルAZ篠栗店もお陰様で稼働率が高く、たくさんのお客様にご利用いただいています。三浦町長の言われるように「人が訪れる、人を呼び込む町」づくりにこれからも一役買えれば幸いです。

6 篠栗マイスターが常駐する 観光交流拠点339Re（ささぐり）

篠栗町役場の向かい側にある観光交流拠点（篠栗町観光協会）です。篠栗マイスターが常駐し、名所や行事、お遍路のご案内をします。カフェ、おみやげコーナーがあるほか篠栗の人気のパンやお弁当も購入できます。

観光交流拠点３３９Re。観光案内スタッフが何でも親切に教えてくれます！

参拝時にお線香やお賽銭をサッと取り出せるサコッシュも販売しています。

大師せんべいの伝統を引き継いだ339Riオリジナルせんべい。卵をたっぷり使い、1枚1枚手づくりで焼き上げられます。